（別記様式第11号）

**アニマルウェルフェアに関するチェックリスト【　豚　】**

記入日　令和　　年　　月　　日　記入者

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １　観察・記録 | はい | いいえ |
| ①１日１回以上、飼養環境や健康状態の悪化の兆候がないかを確認していますか。 |  |  |
| ②飼養管理に関する記録を毎日つけていますか（疾病等の発生、繁殖記録等）。 |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ２　豚の取り扱い | はい | いいえ |
| ①豚に不要なストレスを与える突発的な行動や、手荒な扱いを避け、可能な限り丁寧に取り扱っていますか。 |  |  |
| ②異なる群で飼養されていた豚を混合することは可能な限り避けていますか。混合した場合は通常よりも注意して観察していますか。 |  |  |
| ③豚を移動させる際、苦痛を与えるおそれのある器具等を可能な限り使わないようにしていますか。 |  |  |
| ④拘束は必要な時間だけ行い、適切に保守・整備された器具のみを使用していますか。 |  |  |

| ３　疾病、事故等の措置 | はい | いいえ |
| --- | --- | --- |
| ①　疾病に罹患した豚及び損傷した豚を識別し適切に対処する知識を習得していますか。 |  |  |
| ②　豚へのワクチン接種及び治療は、獣医師の指導の下、豚の痛みや恐れに配慮した手法により行っていますか。※獣医師にワクチン接種及び治療を依頼している場合は「はい」にチェック |  |  |
| ③　疾病に罹患し、又は損傷しているおそれのある豚が確認された場合、可能な限り丁寧に移動させ、分離し、迅速に手当を行っていますか。 |  |  |
| ④　疾病に罹患した豚又は損傷した豚について、治療、緊急出荷又は安楽死させるかどうかを決定するため、獣医師による速やかな診断を受けていますか。 |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ４　去勢（実施している場合はお答えください　該当しない　 ） | はい | いいえ |
| ①去勢は、訓練を受けた者が、豚の痛み、苦痛を可能な限り少なくする方法で、できるだけ早期に行っていますか。 |  |  |
| ②去勢を行う際、感染症に罹らないための予防を行っていますか。 | □ | □ |
| ③去勢の実施後は豚を注意深く観察し、化膿等が見られる場合、速やかに手当又は治療を行っていますか。 |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ５　断尾（実施している場合はお答えください　該当しない　） | はい | いいえ |
| ①　断尾は、訓練を受けた者が、豚の痛み、苦痛を可能な限り少なくする方法で、できるだけ早期に行っていますか。 |  |  |
| ②　断尾を行う際、感染症に罹らないための予防を行っていますか。 |  |  |
| ③　断尾の実施後は豚を注意深く観察し、化膿等が見られる場合、速やかに手当又は治療を行っていますか。 |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ６　給餌・給水方法 | はい | いいえ |
| ①発育段階等に応じて飼料及び水を毎日過不足なく給与し、適正なボディコンデ  ィションの範囲を逸脱しないように管理していますか。 |  |  |
| ②給餌時間は、可能な限り毎日同じ時間としていますか。 |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ７　単飼（ストール、囲い・おり）方式  （実施している場合はお答えください　該当しない　） | はい | いいえ |
| ①つなぎで（係留して）飼養しないようにしていますか。 |  |  |
| ②囲い・おり等で個別に飼養する場合、その中は自然な姿勢での起立、方向転換、快適な横臥が可能であり、排せつ、摂食のための個別のエリアが確保できる十分な空間がありますか。  （実施している場合はお答えください　　該当なし　　） |  |  |
| ③ストールで飼養する場合、両端に同時に触れることなく、かつ上の棒にぶつかることなく自然な姿勢で起立できるとともに、隣の豚を邪魔したりせず快適に横臥できる適切な大きさですか。  （実施している場合はお答えください　　該当なし　　） |  |  |
| ④視覚的、嗅覚的及び聴覚的に、他の豚を感知できるようにしていますか。 |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ８　群飼方法　（実施している場合はお答えください　該当しない　☐） | はい | いいえ |
| ①全ての豚が同時に横臥し、立ち上がって自由に動き、飼料や水を摂取でき、休息場所と排せつ場所が分離され、攻撃的な豚を避けられる十分な空間がありますか。 |  |  |
| ②非常に攻撃的な豚がいた場合、逃げられるように空間の余裕を増やしたり、攻撃的な豚を個別に収容する等、是正措置を講じる体制ができていますか。 |  |  |
| ③群編成の際は、過度な闘争や損傷を防ぐための措置を講じていますか（例：なじみのある個体と一緒にする、群編成の回数を可能な限り少なくする等）。 |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ９　豚舎の環境 | はい | いいえ |
| ①野生動物、ネズミ、ハエ等の有害動物の侵入や発生を防止するよう管理していますか。 |  |  |
| ②豚の快適な温度、湿度を維持するよう努めていますか。 |  |  |
| ③新生子豚や若齢豚、疾病に罹患した豚には保温対策を行っていますか。 |  |  |
| ④豚舎は、安全かつ効率的に、苦痛を与えないよう豚を管理し、豚が動けるようにしていますか。 | □ | □ |
| ⑤豚舎の床は、排水性が良く、表面が乾燥しやすい構造ですか。突起やスリップ等による損傷の発生を防止し、豚にとって快適で安全な状態となっていますか。 |  |  |
| ⑥豚舎内で作業を行う管理者等が、豚の頭の高さで臭気を不快に感じる状態とならないよう、豚舎全体に、常に新鮮な空気を供給していますか。 |  |  |
| ⑦適切な照明設備等を設置していますか。 |  |  |